



林務水産商工課長は、「町民の皆様、そして観光に来てくださった皆様にも楽しんでいただけて、大変嬉しく思っています」と、イベント成功の喜びを語りました。

担当者は、「街を賑やかにし、人の流れを作りたいという思いで試行錯誤を重ねましたが、初めての町中での開催にも関わらず、関係者の皆様の温かいご理解とご協力のおかげで、無事に成功させることができました。心より感謝いたします」と達成感を口にし、「反省点もありましたが、今回の経験を次につなげ、さらに皆様に愛されるより良い祭りに育てていきたい」と、次年度への確かな思いを力強く語りました。



商工部門のミニステージや物販には、終始人の流れが途切れることなく、会場は大変な賑わいを見せました。

ご来場いただいた町民の方々からは、「二箇所ですべて色んな催しを楽しめて、巡りやすい！」「出店とイベント会場が一体となつて活気がある」「（休憩所があればもっと良い、という意見を参考に）さらなる改善にも期待」といった、率直なご感想を拝聴しました。

イベント開始からフィナーレの「やっさん踊り」まで、会場には熱気あふれる人の流れが絶えることなく、まさに盛大な祭りとなりました。

ご来場くださった皆様、誠にありがとうございました。

来年も皆様にお会いできることを心よりお待ちしております。



祭りで人々の想いを。  
そして人をつなぐ。



今年の流鏝馬は、新馬「白流（はくりゅう）」にて執り行われました。

本年度の祭りは、「街に賑わいと人の流れを創出する」という新しい取り組みのもと、流鏝馬会場周辺をイベント会場として設定。同日開催となった「肝付町農業まつり」と相まって、歩行者天国は、終日多くの観客で賑わいを見せました。

神事の会場と東部分団詰所をメインステージとするイベント会場が一体化。これにより、来場者の流れは格段にスムーズになり、大きな相乗効果を生み出しています。

会場内では、無料配布された「あら汁」や「えつがねの味噌汁」をはじめ、様々な催しに多数の行列が途切れることなく続きました。

特に「あら汁」は予想を上回るペースで午前中に配布を終了するほどの盛況ぶり。残念ながら召し上がれなかった方からは惜しむ声も聞かれましたが、会場全体が活気に満ちた一日となりました。

祭り

